

# 会 議 録

会 議 名	山形市行財政運営推進懇話会
開催日時	令和4年6月28日（火）10：30～11：30
開催場所	3階 庁議室
主 催	行政経営課
出席者	後掲名簿のとおり
議 題	協議事項 （1）山形市第6次行財政改革プランの改訂について （2）山形市第6次行財政改革プランの取組状況について
資 料	・ 次第 ・ 【資料1】第6次行財政改革プランの改訂について ・ 【資料2】山形市第6次行財政改革プラン（見え消し版） ・ 【資料3】山形市第6次行財政改革プラン取組状況 ・ 【資料4】山形市第6次行財政改革プラン取組状況【概要版】
傍聴者	なし
作成者	行政経営課 清野

## 会議経過

### （1）山形市第6次行財政改革プランの改訂について

資料1、2に基づき事務局から改定内容を説明

#### 【意見等】

構 成 員	No.25「市有施設の跡地等の利活用促進」に関する取組を追加した理由、No.25-2「未利用地の貸付」を追加した理由を教えて欲しい。
事 務 局	No.25については、「未利用地の売却」だけでは、市の未利用地に対する取組の全体が見えてこないという理由から追加している。また、No.25-2については、取組内容に貸付も含まれていたため、取組名を内容に合わせて修正している。
構 成 員	未利用地の利活用に関し、貸付も含め、様々な取組を実際に行っていたのか。
市 長	これまでは売却がメインであったが、現在はサウンディング等の調査を行い、活用法を検討している。ただ売却するだけでなく、その土地が街にとって付加価値が付くように考えている。
構 成 員	市報にみはらしの丘の土地の公売情報が掲載されていたが、公売の状況はどうか。
事 務 局	土地等を売却する場合は基本的に公売で行うが、大きい土地等になると公売情報を掲載するだけでは売却が困難であるため、並行して、組織横断的なプロジェクトチームを結成し、貸付、売却又は有効活用等の方向性を検討している。そのため、No.25とNo.25-2の取組を分けている。

構 成 員	No.25-2「未利用地の貸付・売却」に係る指標は売却件数であるが、取組を正しく評価できないのではないか。面積や固定資産評価額などの視点はどうか。また、売却だけではなく、貸付に関しても指標を設けてはどうか。
事 務 局	検討させていただく。

(2) 山形市第6次行財政改革プランの取組状況について

資料3、4に基づき事務局から改定内容を説明

【意見等】

構 成 員	No.3「次期基幹システムの構築」について、システムの改修、メンテナンスは必要なことであり、市の基幹システムとなると莫大な費用を要すると思われる。税込減が予想される中、持続可能なシステムの運用が必要とされるが、将来的なコストを見据えてシステムの選定を行ったか。
事 務 局	経費削減について調達仕様書に盛り込み、プロポーザル方式によりシステムを選定した。また、これまでは、制度等の改正に伴い、自治体の運用に合わせたシステムのカスタマイズが必要だったが、国が提示する標準仕様書に準拠したシステムを導入することによりカスタマイズが抑制されるとともに、クラウドシステムを各自自治体で共同することによりシステム導入費用が按分負担となるなど、経費節減を図っている。
構 成 員	弊社のシステムも更新の時期を迎えているが、従前のシステムがカスタマイズにカスタマイズを重ね、さらにカスタマイズの担当者が引退したこともあり、トラブルとなっている。システムを持続的に利用していくためにも、カスタマイズは少ない方が良い。
構 成 員	クラウド型ということは、サーバーにデータが保管され、端末には一切残らないということか。現状のシステムも同様か。
事 務 局	現状も、セキュリティ確保の面から、基幹システムのデータは市のサーバーに保管され、端末には残らない仕組みとなっている。また、災害等に備え、バックアップデータも保管している。
構 成 員	他自治体において、個人情報が入った記録媒体の紛失といった事故があったが、山形市の対策はどうか。
事 務 局	各端末に記録媒体の書き込み禁止の制限がかかっており、基本的に外にデータが持ち出せない仕組みとなっている。また、情報セキュリティ担当者が管理する記録媒体のみ書き込み可能であるが、記録媒体を移動する場合は、情報セキュリティ責任者（情報企画課長）の許可が必要であり、記録媒体の移動方法としては、記録媒体本体を暗号化又はパスワード設定した上で、鍵付きのケース等に格納し運搬するルールとしており、2重3重のセキュリティを確保している。
構 成 員	取組状況の総合的な感想として、非常によく頑張っていると思われる。特にふ

るさと納税は素晴らしい実績を残しており、また、評価は－（バー）としているコロナ感染対策であるが、ワクチン接種は、市民の一番の関心事であり、山形市の取組はSの評価に値すると思われる。

デジタル化の取組についても順調に進んでいると思われるが、一方で、No.18「情報セキュリティ対策の充実」の取組はBの評価とされている。コロナ対策を考慮して情報セキュリティ監査を取りやめたとあるが、経緯を教えて欲しい。

事務局 情報セキュリティ監査は、情報担当職員が対象課に出向き実地調査等を行うものであるが、職員同士の接触を避けたこと、また、保健所への応援体制の確保を最優先としたためである。

構成員 デジタル化の取組と併せてセキュリティ対策も両立していただきたい。

構成員 今の意見に関連して、新たな事務が増えたり、取り扱う情報が変わったりと、監査項目もそれらに合わせて見直しが必要と思われる。定期的に見直しを掛け、実情に合った監査を実施していただきたい。

構成員 内部監査だけではなく、外部監査も取り入れてはどうか。

市長 今やっているやり方が適切かどうか、専門家のチェックも必要と思われる。所管に伝え検討させていただく。

構成員 No.15「政策提案チャレンジ」について、新聞で何度か拝見したが、若い職員が部局を越えて活発に意見交換しており、非常に良い取組だと思う。

事務局 今年度も継続して実施しており、更に充実した取組となるよう努めていく。

## 出席者名簿

### 【構成員】

所属職名	氏名
山形大学人文社会科学部教授（座長）	荒井 太郎
山形商工会議所常議員、女性会会長（副座長）	井上 弓子
弁護士	山上 朗
公認会計士	押野 正徳

### 【山形市】

山形市長	佐藤 孝弘
------	-------

### 【事務局】

総務部長	伊藤 浩之
行政経営課 課長	永澤 哲
行政経営課 行財政改革総括主幹（兼）課長補佐	松沢 聖
行政経営課 係長	清野 信哉
行政経営係 主幹	山口 武志